

会議結果のお知らせ

令和5年度第2回宮古・田老・新里・川井地域づくり協議会4地区合同会議を次のとおり開催しました。

令和5年12月5日

宮古・田老・新里・川井地域づくり協議会

1 開催日時

令和5年10月30日（月）13時30分から19時30分まで

2 開催場所

宮古市市民交流センター 会議室1・2

3 議題

- (1) 令和6年度宮古市地域創造基金事業プレゼンテーション
- (2) 令和6年度宮古市地域創造基金事業選考について

4 会議の概要

- ・令和6年度宮古市地域創造基金事業の宮古地域分のチャレンジ枠（10件）について、事業選考を行った。

5 問い合わせ先

宮古地域づくり協議会事務局 宮古市企画部企画課地域創生推進室

電話 0193-62-2111（代表） 内線 4620 0193-65-7056（直通）

令和5年度第2回宮古・田老・新里・川井地域づくり協議会4地区合同会議

- 1 開催日時 令和5年10月30日(月)13:30~19:30
- 2 場所 宮古市市民交流センター 1階 会議室1・2
- 3 出席者 (宮古地域づくり協議会)戸由忍会長
(田老地域づくり協議会)八重樫則夫会長、畠山正広副会長
(新里地域づくり協議会)門坂道弘会長、川崎賢一副会長
(川井地域づくり協議会)坂本百洪副会長
- 4 欠席者 (宮古地域づくり協議会)中崎則男副会長
(川井地域づくり協議会)中坪徳裕会長
- 5 発表者 (1)宮古市で交響曲を演奏する会
梅村圭一氏
(2)津軽石郷土芸能団体協議会
中嶋勝司氏、館下光利氏、野崎政博氏
(3)To Project 実行委員会
村上裕敏氏
(4)パワーストックイン宮古実行委員会
太田昭彦氏、藤澤宏和氏
(5)みやこ/まちづくり研究会
高岩富郎氏
(6)たろう大漁まつり実行委員会
前田宏紀氏
(7)WARADUKA
前田宏紀氏
(8)道の駅たろう連絡協議会
畠山一伸氏、山本美絵氏
(9)閉伊川遊イング事業実行委員会
小山田大助氏、高橋真氏
(10)和井内区
菅野悟氏、田越克之氏
- 6 事務局 (企画部企画課)
箱石剛課長、工藤真奈美地域創生推進室長、千葉志美主事
(企画部田老総合事務所)
齊藤清志所長、上坂春樹主任
(企画部新里総合事務所)
蒲野栄樹所長

(企画部川井総合事務所)
藤原達也所長、松草寒三住民生活係長
なし

7 傍聴者

8 議事等
13:30 室長が会議の開会を宣言
13:31 議長挨拶
13:35 協議
19:30 室長が会議の閉会を宣言

9 結果
令和 6 年度地域創造基金事業実施団体によるプレゼンテーションを受け、
宮古地域づくり協議会委員が選考を行い、全 10 事業が採択となった。
協議の内容及び基金の決定額は別紙のとおり。

別紙・プレゼンテーションに対する質疑応答

質問・意見	回答
<p>【第59回「音楽の夕べ」】 (委員) 宮古カルテットは演奏料を4名に支払うこととなっているが、旅費は3名分または2名分となっている。この違いは何か。</p> <p>(委員) 続けて事業を行っているが、昨年度と比較して変わった点はあるか。</p> <p>(委員) 来場者は毎年続けてくる方が多いのか、新規の方が多いのか。</p> <p>(委員) 今年度の基金の額は80万円だったが、申請額が上がっている。変わったところを詳細に教えて頂きたい。</p>	<p>(宮古市で交響曲を演奏する会) 宮古在住の演奏者がいることと、事前に宮古入りしている演奏者がいるため、内訳書に記載のとおり違いが出ている。</p> <p>(宮古市で交響曲を演奏する会) 昨年までは漆工芸館でカルテットの演奏をしていた。来年は、太田カルテットの110周年を迎えることから、イーストピアみやこでの開催を検討している。</p> <p>(宮古市で交響曲を演奏する会) 基本的には同じお客様が多いように感じる。ただ、合唱団とのコラボレーションにより様々な客層が入る。</p> <p>(宮古市で交響曲を演奏する会) 演奏者の人数が増えた。</p>
<p>【津軽石郷土芸能保存育成事業】 (委員) 地域の担い手不足はどこにでもある課題。他の地域にも波及させて行けるような取り組みになるよう期待している。</p> <p>(委員) 記録集は単年度で完成させる予定か。</p> <p>(委員) 記録集に係る予算が36万円計上されているが、これは業者からの見積もりに基づいた金</p>	<p>(津軽石郷土芸能団体協議会) 子どもたちに目的を持って取り組んでもらうこと、発表の場を設けることが大切だと考えている。 1人でも2人でも続けて取り組んでいる子がいれば大歓迎している。</p> <p>(津軽石郷土芸能団体協議会) 単年度で完成予定。 来年度の事業について、準備から映像に記録してもらう。それぞれの由来等については市史等を参考にしながらまとめる予定。</p> <p>(津軽石郷土芸能団体協議会) 業者に相談したところ、1団体8ページずつの記録集を作成した場合このくらいの金額にな</p>

<p>額か。</p> <p>(委員) 記録集は1団体8ページで何部作るのか。</p> <p>【森のカフェ2024】</p> <p>(委員) この事業は1日のみのイベントか。 時期的に寒かったり、雨が降ったりすることが考えられるかその場合はどうするのか。</p> <p>(委員) 今後継続して実施したいということだが、その見通しを教えてください。</p> <p>(委員) 来場者は何名くらいか。</p> <p>(委員) 今後の継続に向けて、自主財源確保のために考えていることがあれば教えてください。</p> <p>(委員) メンバーを増やしていくのは難しいことだと思うが、地域外からの協力もあるか。</p> <p>【パワーストックin宮古開催事業】</p>	<p>と言われた。</p> <p>(津軽石郷土芸能団体協議会) 1団体8ページで7団体分を制作する。それを1冊の本にまとめる。 各団体に10部ずつの配布を想定して、合計100部印刷する予定。</p> <p>(To Project 実行委員会) 1日のみのイベント。 去年は前々日に雨が降って中止した。今回はパラソル・テント等の購入を検討しており、それで雨をしのげるように考えている。 寒いことも考えられるが、地域の方が農業で忙しい時期を避けるとこの時期になる。</p> <p>(To Project 実行委員会) 森のカフェは季節に合わせて開催したいと思うが、なかなか難しいので、年に1回もしくは2回開催したい。 桜のライトアップなど、簡易な事業を実施していきたい。 会員は少ないが、イベントに合わせて老人クラブなど地域の方の協力を得て、取り組んでいる。</p> <p>(To Project 実行委員会) 初回は101名、去年は中止だった。今年は150人を目標にしている。</p> <p>(To Project 実行委員会) ピアノのレンタル費用が大きいので、亀岳小学校のピアノを活用しての実施や別の形での実施を検討する。</p> <p>(To Project 実行委員会) 田代のファンの方、イベントのファンの方などに協力をいただきながら取り組んでいきたい。</p>
---	---

<p>(委員) 日本を代表するアーティストとはどのような方を予定しているのか。</p>	<p>(パワーストックイン宮古実行委員会) まだ予定はしていない。 出演料の関係もあり、基本的には宮古を応援してくれるアーティストに来ていただいていた。氣志團、BiSH、10-FEETなど。来年度についても同じようなところにお声がけしたいと考えている。</p>
<p>(委員) これまでの来場者は県内の方が多かったか。</p>	<p>(パワーストックイン宮古実行委員会) 全国から来場がある。</p>
<p>(委員) 基金の110万円の使い道・内訳はどのようになるか。</p>	<p>(パワーストックイン宮古実行委員会) 物価高騰に対応するため活用したい。 これまでの開催状況から試算したところ、会場運営のための委託料で110万円ほど不足することが分かり申請した。</p>
<p>(委員) 内訳書の中に「音楽著作権」とあるが、持ち歌を歌う場合でも必要な経費か。</p>	<p>(パワーストックイン宮古実行委員会) 必要。権利を守るため、JASRAC(一般社団法人日本音楽著作権協会)からイベント主催者に請求がある。JASRACからアーティストに支払われる。</p>
<p>(委員) 令和7年度以降はどのように実施していくか。</p>	<p>(パワーストックイン宮古実行委員会) 地域に根ざしたイベントにしたい。 自主財源等でカバーしたい。</p>
<p>(委員) 他地域とのイベントと差別化を図るか。他地域と同じように開催していくのか。</p>	<p>(パワーストックイン宮古実行委員会) 震災後は、支援で色々なイベントが行われてきたが、岩手県沿岸部で続いているイベントは「KESEN ROCK FES」のみ。 宮古では頑張って続けていきたい。</p>
<p>【みやこまち音楽祭】 (委員) 今年度のイベントについて、改善点があったと伺ったがどのような内容か。</p>	<p>(みやこ/まちづくり研究会) 初めてで会場運営やスタッフの連携がうまくいかなかった。 市民の方からは、「ジャンルがまちまちだ」、「メイン会場が分からない」等の意見をいただいた。また、チラシを全戸配布した後に内容が</p>

<p>(委員) 今年度いくつか会場があったが、設置場所には理由があったか。</p>	<p>変更になりご迷惑をおかけした。</p> <p>(みやこ/まちづくり研究会) 過去の例を参考に実施した。 うみどり公園がメインの会場だったが、あくまで公園のため会場としては狭かった。</p>
<p>(委員) 今後も有名なアーティストを呼ぶのではなく、市民参加型のイベントとして開催するのか。</p>	<p>(みやこ/まちづくり研究会) これからも宮古にゆかりのある方とイベントを作っていきたい。 ただ、知名度を上げるために有名な方を呼ぶことも必要なのかもしれない。</p>
<p>(委員) サントリーから補助は何年続くのか。</p>	<p>(みやこ/まちづくり研究会) 5年続けてほしいと言われている。</p>
<p>(委員) 今年度の様子を教えてください。</p>	<p>(みやこ/まちづくり研究会) 主催者側でのカウントは行っていないが、新聞記者の方から5～6,000人の来場があったのではないかと伺った。 会場に椅子がなく苦情があった。</p>
<p>【復興たろう大漁まつり】 (委員) 備品購入費の舞台備品とは何を購入するのか。</p>	<p>(たろう大漁まつり実行委員会) 照明機器を購入予定。出演者を後ろから照らすもので、切り替えのできるライトを購入したい。</p>
<p>(委員) 今年度のミニライブについて、観客約400人とあるが事務局的に多いと感じているか。少ないと感じているか。</p>	<p>(たろう大漁まつり実行委員会) ライブ中は会場にいっぱいにお客さんが入っていたので、私としてはたくさんのお客さんに来ていただいたと感じている。</p>
<p>(委員) 有名な方に出演いただいて集客を図るといふことで昨年度から説明を聞いている。 今年度の基金の額が130万円だったが、今回150万円とした理由は。また、自主財源が減少しているのはなぜか。</p>	<p>(たろう大漁まつり実行委員会) 昨年度も150万円で申請し、審査で130万円に減額となった。そのため、自主財源からの負担が大きくなった。 継続のために、自主財源を確保したいこともあり自主財源を減額している。</p>
<p>(委員)</p>	<p>(たろう大漁まつり実行委員会)</p>

<p>基金がなくなった後のイベント内容はどのように考えているか。</p> <p>(委員) 今年度の報告に観客数915名とあるが、観客数に比べて基金の額が釣り合っているのか疑問。今回の予算についても、多くが出演料であるが、ゲストを呼ぶ意味があるのか。</p>	<p>自主財源はあまりない。 内容は見直して、低額でできるものにした い。</p> <p>(たろう大漁まつり実行委員会) 今年度、有名なゲストをお呼びして良い評価をいただいた。交流人口の増加、田老の賑わい創出を考えたときに知名度があるゲストを呼ぶことは大きい。 来年度予定しているゲストは、一度活動休止したところから再開しているので、震災のあった田老を元気づけてくれると考えている。</p>
<p>【おらほの夏まつり2024】</p> <p>(委員) 花火の打ち上げにはこれくらいの費用が必要なのか。</p>	<p>(WARADUKA) 当初はメッセージを入れながら、トータルで1時間ほど花火の打ち上げを行っていた。 震災後は、観客からの要望もありメッセージなしで連続して約30分間花火が上がるようにしており、このくらいの金額は必要になってくる。</p>
<p>(委員) 地域の方からの期待も大きいと感じるか。</p>	<p>(WARADUKA) 地域の方から協賛金をいただいております、それが地域の声だと考えている。</p>
<p>(委員) 来年度以降の運営はどうするのか。</p>	<p>(WARADUKA) 基金の創設の前は各自治会から集金して実施していた。来年度以降は、基金創設前の形に戻せるよう自治会に協力を依頼したい。</p>
<p>(委員) 花火協賛金の額が減っている要因は。</p>	<p>(WARADUKA) 花火協賛金には震災後、復興工事のために駐在していた建設会社からのものが含まれている。徐々に数が減ってきていることから、協賛金も減っている。</p>
<p>【道の駅たろう元祖サツパ市・ミニサツパ市】</p> <p>(委員) 役務費の中の商品送料は何か。</p>	<p>(道の駅たろう連絡協議会) 商品送料は、ミニサツパ市において他地域か</p>

<p>(委員) 令和7年度の計画には、協議会の会費や出店者協力金で事業費70万円を賄うと記載があるが、これは協議会内で了承済みか。</p>	<p>ら商品を仕入れる際の経費である。</p> <p>(道の駅たろう連絡協議会) 今後もイベントを継続したい。 自主財源で賄えるよう検討していきたい。</p>
<p>(委員) 道の駅を使ったイベントはどこからの集客が多いのか。</p>	<p>(道の駅たろう連絡協議会) ポスターは広範囲に掲示をお願いしている。 お客さんは宮古市内に限らず、広く県内からいらっしやっている。</p>
<p>(委員) 道の駅同士の連携はあるか。</p>	<p>(道の駅たろう連絡協議会) イベントを開催することにより、他の道の駅から商品を仕入れることがあり、そこでつながりができている。</p> <p>(道の駅たろう連絡協議会) 南北に新しい道の駅ができたことにより、相乗効果で客足が伸びている。 道の駅を巡っている方が多いようだ。</p>
<p>【閉伊川遊イング事業】 (委員) ゴムボートのレンタルはいくらで行うか。 また、何艇のレンタルを想定していたか。</p>	<p>(閉伊川遊イング事業実行委員会) レンタル料金は決まっていなかった。盛岡市で行われている川下り大会では、1艇1万円で貸し出しているのので、同程度と考えていた。 10艇を想定している。</p>
<p>(委員) 鮎釣り選手権と川下り大会の参加料の違いは何か。</p>	<p>(閉伊川遊イング事業実行委員会) 鮎釣り選手権の参加料には、おとり鮎代、参加賞代、副賞代が含まれる。 川下り大会の参加料には、参加賞代、副賞代、保険料が含まれている。副賞と保険料に係る経費が少し高額な分、参加料も上がっている。</p>
<p>【和井内区地域活性化事業】 (委員) 前回の来場者数は。</p>	<p>(和井内区) 約2,000人。</p>

<p>(委員) 担い手不足が課題だと伺ったが、今後どのように対策していくか。</p>	<p>(和井内区) 担い手が少なく大変。高齢者が全体の60%以上を占める。地区のみんなで協力して、できる範囲で続けて行きたいと考えている。</p>
<p>(委員) 地域創造基金がなくなった後は、どのように事業を実施していくか。</p>	<p>(和井内区) 基金設置前からイベントは実施している。各地区でできることを話し合っ、出店していたので、令和7年度以降もそのように進めていきたい。</p>
<p>(委員) イベントの駐車場はどこに設けているか。</p>	<p>(和井内区) ふるさと会館の駐車場(約50台)、旧教員住宅(約30台)、ふるさと会館から坂を上ったところにある平地(約100台)を用意している。それでも足りない場合は、ふるさと会館につながる坂の広がっているところに駐車してなんとか対応している。</p>

別紙・事業選考に係る協議

意見	結果
<p>【第59回「音楽のタベ」】</p>	<p>採択 基金額1,290,000円</p>
<p>【津軽石郷土芸能保存育成事業】 (委員) 記録集の費用が大きいので、見積書の添付を求めたい。</p>	<p>採択 基金額900,000円 ※意見あり 補助金申請の際に、記録集に係る見積書を添付すること。</p>
<p>【森のカフェ2024】 (委員) 基金額のうち、60%以上が備品購入費に充てられる計画となっている。来年度備品を整備するので、継続して開催していただきたい。</p>	<p>採択 基金額982,400円 ※意見あり 令和6年度に備品を整備し、令和7年度以降も事業を継続していただきたい。</p>
<p>【パワーストックin宮古開催事業】</p>	<p>採択 基金額1,100,000円</p>
<p>【みやこまち音楽祭】</p>	<p>採択 基金額1,000,000円</p>
<p>【復興たろう大漁まつり】 (委員) ゲストの出演に係る費用が50%以上を占めるのはいかがなものか。 この補助金は公金なので、ゲストについても再検討すべきではないか。 (委員) 今年度の集客が約900人ということで、効果があるのか疑問を抱く。(和井内区が実施している収穫祭は2,000人の集客がある。) イベントの趣旨が固まっていれば、多額の費用をゲストの出演料等に費やさなくてもイベントとして成立するのではないか。 (委員) 1人の著名人に集客を頼るのには限界がある。例えば、出演者謝礼金を30万円にして、そ</p>	<p>採択 基金額1,300,000円(▲200,000円) ※意見あり 予算について、ゲストの出演に係る費用が全体の半分以上を占めるのは適正ではないと考える。 地域における住民の連帯強化及び地域の振興を図るという宮古市地域創造基金の目的に照らし合わせて、事業内容を再考いただきたい。</p>

の中で実施してもらおうというのもあると思う。

(委員)

毎年平均点が低いように思う。

(委員)

毎回、「目的は素晴らしいと思うが、手段として著名人を呼ぶということが果たして良いのか」という議論になっている。

(委員)

昨年の結果を踏襲すると、採択して基金の額を減額するということになると思う。

(委員)

昨年の審査結果に対する対応はいかがだったか。

(事務局)

審査結果を踏まえて、事業内容を検討した結果、今年度も著名人を呼ぶという内容で実施されたものと理解している。

(委員)

地域の方の反応はいかがか。

(委員)

好評でミニライブを見るためにイベントに来ている方も多い。

(委員)

誰を呼んでも良いと思うが、出演料の比率が適正ではないと思うので、減額して審査結果に合わせて事業を実施してもらおうというのはいかがか。

(委員)

点数も低いので、昨年と同様に減額するのが良いと思う。

(委員)

個人的には、多額の公金でゲストを呼ぶのは反対。内容を再検討するように、意見を付してはどうか。

(事務局)

様々な考えの方がいらっしゃると思う。出演者を変更してほしいという意見を出すのにも理由が必要。慎重にお願いしたい。

(委員)

出演者の決定理由について、きちんと説明できるのであれば良いと思う。

(委員)

たろう大漁まつり実行委員会の中では、このような協議にならなかったのか。

(事務局)

会議でこの内容にしたいと提案があった。基金の範囲内で呼ぶことのできる著名人であることから、特に反対の意見は出なかった。

(事務局)

昨年度、基金額を減額し、「地域振興につながるような内容に工夫すること」と意見を付した。それも踏まえて審議していただければ。

(委員)

今のお話について、これまであまり議論されてこなかったと思う。

昨年と同様20万円減額で、事業内容を再考するように意見を付してはどうか。団体側に、イベントを実施する上では責任を持つようにと説明することも必要。

(委員)

昨年度の申請内容とほとんど変わっていない。また、昨年度も減額したものの、事業は実施できたということなので、減額で良いと思う。

【おらほの夏まつり2024】	採択 基金額1,500,000円
【道の駅たろう元祖サツパ市・ミニサツパ市】	採択 基金額1,500,000円
【閉伊川遊イング事業】 (委員) 鮎釣り選手権について、参加者を増やす努力をするべき。	採択 基金額1,500,000円 ※意見あり 鮎釣り選手権の参加者を増やす努力をしていただきたい。
【和井内区地域活性化事業】	採択 基金額1,500,000円